

波崎東部地域活性化基本構想 概要版

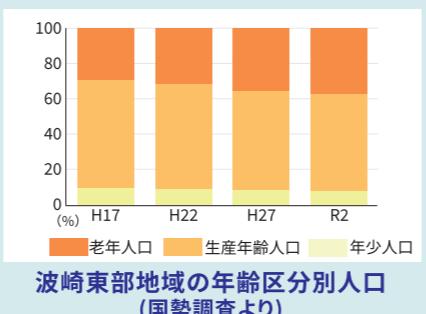
01 はじめに

波崎東部地域活性化基本構想では、魅力的な地域資源や公共施設などを活用し、市内でも人口減少や高齢化が顕著な波崎東部地域（主に日の出町・豊ヶ崎・明神前）へ市内外から多くの方々に訪れていただくことにより、にぎわいを創出し、定住人口・交流人口・関係人口の拡大による地域の活性化を図ることを目的としています。

02 波崎東部地域の現状の整理

人口

- 平成 17 年と比較すると令和2年の人口は約 30% 減少しており、高齢化が進行しています。



施設

- 「はさきマリンプール」や「(仮称) 波崎東部市営住宅」など新しい施設の整備が進んでいます。
- 波崎東ふれあいセンターなど経年により老朽化している施設があります。
- 生活するうえで必要な商業施設や医療施設については、他の地域と比較すると、少ない状況にあります。



はさきマリンプール

観光

- 波崎海水浴場の入込客数は、平成 26 年と令和元年を比較すると、約 50% 減少しています。
- 宿泊施設が多く、「スポーツ合宿による来訪」が大変多いです。
- Twitter を用いて、波崎地域関連の「つぶやき」を集計したところ、「スポーツ合宿」や「釣り」に関する「つぶやき」が多くみられました。



地域資源

- 「スポーツ・レクリエーション施設」や「公園」などをはじめ、様々な地域資源を有しています。

地元住民のご意見

- 波崎東部地域の魅力として「海や川などの自然」や「海水浴場」、課題として「商店の不足」や「医療・福祉などのサービスが不十分」の回答率が高くなっています。

03 課題の整理・取組の方向性

課題

- 「スポーツ合宿」・「海水浴」・「釣り」で集客があるものの、それ以外の目的での来訪が少ないです。
- 様々なスポーツ競技を実施できる環境を有していますが、さらなる利用を促進する必要があります。
- 劣化が進んだ施設や利用者が減少している施設が存在します。
- 人口減少による生活環境水準の低下が危惧されます。

取組の方向性

既存資源の魅力向上

ポテンシャルを活かしたスポーツ振興

公共施設の適切な更新・活用

住環境・生活環境の充実

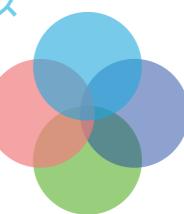
04 コンセプト

地域の象徴であり、地域内外の人々が魅力を感じている波崎東部地域の「海」を中心に、にぎわいを創出し「住む人」、「訪れる人」、波崎東部地域に「関わる人」の心を満たす(海 + 満たす)地域を目指します。

4つの円は、各ゾーンとそれぞれのアクティビティである「ふれあう」、「くらす」、「あそぶ」、「かんじる」を表しています。

ウミダス 海の恵みが生み出すにぎわい

ウミタス
海 +



05 基本方針

地域の現状を踏まえたゾーンの設定

波崎東部地域の特色ごとに「コミュニティ・交流ゾーン」、「移住・定住ゾーン」、「スポーツ・レクリエーションゾーン」、「自然体感ゾーン」の4つのゾーンを設定し、各ゾーン別に方針を定めます。

各ゾーンと周辺自治体との回遊性促進

地域内の回遊性を促進するため、ゾーン間をサイクリングコースで「つなぐ」とや、神栖市内や周辺自治体の地域資源と波崎東部地域を「つなぐ」ことにより、広域的な回遊性の促進を図ります。

まちづくり組織の設立検討

波崎東部地域の継続的なにぎわい創出のため、また様々な人のアイディアをにぎわい創出に活かすことができるよう、地域の「ひと」を中心としたまちづくり組織の設立を検討します。



波崎東部地域活性化基本構想 概要版

05-1 地域の現状を踏まえたゾーン設定



海 +

- ふれあう** コミュニティ・交流ゾーン
住民同士や地域と観光客が「ふれあう」波崎東部地域の拠点となるゾーン
- くらす** 移住・定住ゾーン
子育て世帯や高齢者が安心して「くらす」ことができる市営住宅を中心とした居住ゾーン
- あそぶ** スポーツ・レクリエーションゾーン
海に関連したスポーツやレクリエーションで「あそぶ」ことができるゾーン
- かんじる** 自然体感ゾーン
自然フィールドを活用し、自然を「かんじる」アクティビティを行うことができるゾーン

■波崎東ふれあいセンター用地とはさき生涯学習センターの活用 コミュニティ・交流ゾーン

「住民のための生活拠点」、「観光客等のための交流拠点」の両機能を兼ね備えた拠点施設として、波崎東ふれあいセンター用地及びはさき生涯学習センターの活用を検討します。導入機能としては、右に示す機能などが考えられます。

地域交流機能	多目的室・会議室・シェアオフィスなど
地域情報発信機能	観光情報・地域活動情報など
防災機能	避難場所など
物販機能	食品・日用品・お土産・移動式販売など
飲食機能	食堂・レストラン・キッチンカーなど
医療機能	診療所・薬局など

■市営住宅建替に伴う活用可能地の分譲・サービス付き高齢者向け住宅・シェア農地等の整備

東町住宅の建替に伴い活用可能地が生まれることから、「子育て世帯、若者夫婦が安心して子育てができる環境づくり」、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を目指して、子育て支援住宅やサービス付き高齢者向け住宅、多目的な利用が可能なオープンスペースなどの整備を検討します。

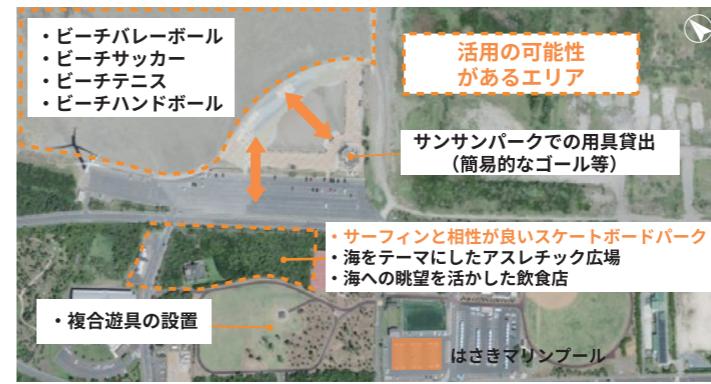


移住・定住ゾーン

	活用可能地①	活用可能地②
特徴	・津波による浸水が生じにくい	・津波による浸水の恐れがある
活用方法	・子育て支援住宅 ・若い世帯向けの分譲地 ・サービス付き高齢者向け住宅 ・多目的利用が可能なオープンスペースなど	・シェア農地(サービス付き高齢者向け住宅居住者や地元住民向け)など

■豊ヶ浜運動公園周辺未利用地の活用

豊ヶ浜運動公園に隣接する周辺用地の活用を検討します。活用方法は、「サーフィンとの相性が良いスケートボードパーク」や「海をテーマにしたアスレチック広場」などが考えられます。



スポーツ・レクリエーションゾーン

■海水浴場の魅力向上

老朽化しているサンサンパーク（トイレ、デッキなど）の改修や飛砂対策、駐車場の通年利用促進、周辺施設との連携など、波崎海水浴場の魅力向上に資する対策の検討を行います。

■海を活用したイベント開催

波崎海水浴場やサンサンパークを活用した参加者多数の大きなサーフィン大会などの魅力的なイベントの開催を検討します。

自然体感ゾーン

■自然景観の活用

自然景観の活用による観光客の誘致を検討します。



■波崎海岸砂丘植物公園の魅力向上

海との隣接性を活かし、「植物公園から海へとつなぐ道の魅力向上」や「海岸性植物の植栽」、「砂丘キャンプ場としての利用」などの検討を行います。

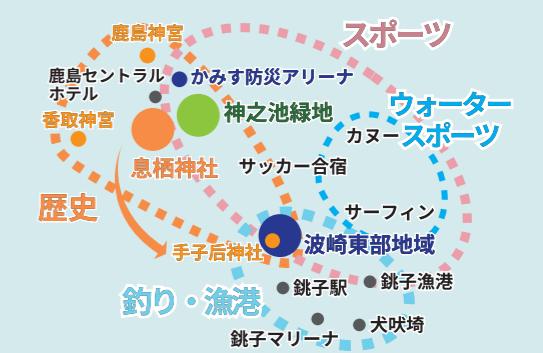
■波崎かもめ公園等の活用・再整備

海をモチーフとしたオブジェや起伏のある施設を活用し、市内の南浜にある1000人画廊やきらっせ祭りなどの既存イベントとの連携によりアート公園としてデザインするなどが考えられます。

05-2 各ゾーンと周辺自治体との回遊性促進

■サイクリング拠点の整備

波崎東部地域は、「太平洋岸自転車道」と「常陸利根リバーサイドサイクリングロード」を連結する位置にあります。そこで、広域連携・地域内回遊促進のためのサイクリング拠点の整備を検討します。



■広域連携回遊促進

神栖市内や周辺自治体の資源との連携も踏まえて、波崎東部地域の資源の活用を検討します。

05-3 まちづくり組織の設立検討

地域活性化の先進的な事例では、地域活性化を行う中心的な組織が存在しています。そこで、波崎東部地域においても活性化を担う中心的な組織である「まちづくり組織」の設立を検討します。